

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
YIC情報ビジネス専門学校		平成1年8月24日		中川 達也		〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8354	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人YIC学院		平成13年10月11日		井本 浩二		〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号 (電話) 083-976-8111	
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程		国際ホテル・ブライダル学科			商業実務専門課程 平成23年文部科学省告示166号	-
学科の目的		接客業に必要なホスピタリティ精神を培いホテル・ブライダル業界で活躍できる人材を育成します。ビジネスマナー、パソコンスキル、語学に加え専門に関わる授業を実践、実習を中心に学びます。					
認定年月日		平成29年2月28日					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710時間	360時間	1350時間	30時間		
		1740時間					
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	
40人		47人		27人		2人	
9人		兼任教員数		総教員数			
40人		47人		27人		2人	
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日					
成績評価		■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 【学生便覧 学習の手引き 5. 成績評価】 ①成績評価は、試験のほか確認テスト、模擬テスト、レポート、出席状況、授業態度により総合的に評価する。 ②評価結果は、秀、優、良、可、不可の5段階とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。 判定評価点成績GPA成績評価内容 合格100～90点秀4到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている 89～80点優3到達目標を十分に達成している 79～70点良2到達目標を達成している 69～60点可1到達目標を最低限達成している 不合格59点以下不0到達目標を達成していない 未履修—各科目について欠課が授業時数の1/3を超えるもの ※GPAの対象としない ③評価結果が不可の者に対し再試験を実施することがある。再試験実施後、試験の結果の代わりに再試験の結果を用いて評価をやりなおす。ただし、秀、優、良相当の成績であっても評価結果は可とする。 ④年度末に通年の評価結果の一覧を成績表として、保護者(保証人)に送付する。 ⑤卒業年次生は、就職活動に際し成績証明書の必要な場合がある。そのため、申請のあった者については各期末終了日前に、受講中の教科科目について中間評価を行う。その際、確認テストや模擬テスト、レポート、出席状況等をもとに評価を行う。					
長期休み		■学年始め：4月1日～4月7日 ■夏季：8月1日～27日 ■冬季：12月27日～翌1月7日 ■学年末：2月14日～3月31日					
卒業・進級条件		【学生便覧 学習の手引き 7. 進級・卒業】 ①進級要件 年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める当該年次の教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、進級必要単位数を修得している。 b. 当該年次の学費、教材費等が納められていること。 ②卒業要件 卒業年次の年度末において次の要件のすべてを満たしていること。 a. 各学科の定める教科科目のうち、必修科目、選択必修科目の成績評価がすべて可以上であり、卒業必要単位数を修得している。 b. 全ての学費、教材費等が納められていること。					
学修支援等		■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 (出席状況不良者への対応) ・担任は原則として1か月ごとに担当学年の出席状況を確認する。 ・担任は科目の出席率が8割を満たさない者は、学生と面談を行い、その結果を学科責任者及び職員会議で報告する。必要に応じて学生指導及び保護者連絡を行う。 (長期欠席者への対応) ・上記の対応に加え、欠席が長期に渡る者については、電話連絡を密にし、必要に応じて学生及び保護者を召喚し、面談を行う。 ・学生及び保護者への対応を行った時は、その内容を学生個人記録に記録する。					
課外活動		■課外活動の種類 学生会(学生自治組織・学園祭の実行委員会等を行う)					



	無 ■サークル活動：
--	--

就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和2年度卒業生） As-meエステール株式会社、萩小町、ジュラーレツルヤ、株式会社アデリー、プリモ・ジャパン、株式会社プリンスホテル、鈴乃屋、プライダル優美		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者にに関する令和2年5月1日時点の情報)
	■就職指導内容 起業研究、履歴書指導、面接対策、自己分析、自己PR		
	■卒業者数 16人		
	■就職希望者数 16人		
	■就職者数 16人		
	■就職率 100%		
中途退学の現状	■卒業者に占める就職者の割合 100.0%		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
	■その他		
	(令和2年度卒業者にに関する令和3年5月1日時点の情報)		
	■中途退学者3名		
	■中退率7.5%		
	令和2年4月1日時点において、在学者40名（平成31年4月1日入学者を含む） 令和3年3月31日時点において、在学者37名（令和2年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、学費面（留学生）		
経済的支援制度	■中退防止・中退者支援のための取組 ・1、2年の年初にQU（楽しい学校生活を送るためのアンケート）実施 ・クラス担任による定期的な面談 ・年1回保護者面談・3者面談を実施（8月）		
	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 指定校推薦奨学生制度（授業料5万円減免）、自己推薦奨学生制度（授業料3万円減免）、社会人特待生制度（授業料5万円減免）、進級時成績優秀者奨学生制度（1～10万円給付）、YICファミリーサポート（授業料5万円減免）、YIC卒業生授業料サポート（授業料10万円減免）、YIC入学選考料サポート（入学選考料減免）、遠距離サポート（毎月3千円支給）、ひとりぐらしサポート（毎月0.5～1万円支給） ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 前年度の給付実績者数 0名		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)		
当該学科のホームページURL	http://www.yic.ac.jp/ib/course/hotel/		

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

・学科の専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会（教育課程編成委員会）を置く。

・審議事項は次の事項とする：カリキュラムの企画・運営・評価、各授業科目の内容・方法の充実及び改善、教科書・教材の選定、教員研修。

・委員会には学校関係者のほか、専攻分野に関する企業等の役員または有識者を1人以上加えることとし、企業等との連携を密にする。

（以上 学校法人Y I C学院 教育課程編成委員会規則 より抜粋）

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

・「学校法人Y I C学院は、設置する専門学校各校の各学科に、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした委員会を置く。」（学校法人 Y I C学院 教育課程編成委員会規程第2条より）

・カリキュラムは、教育課程編成委員会の意見等を参考に、学内教育課程編成委員会において編成する。教職員会議での検討を経た後、理事会の承認を受け最終決定。

・授業内容・方法の改善・工夫等については、教育課程編成委員会の意見を参考に、可及的速やかに対応する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年7月7日現在

名 前	所 属	任期	種別
藤井 博	株式会社 山口グランドホテル 支配人	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日（2年）	③
北條 栄太郎	株式会社 近江屋 副社長 山口青年会議所 副理事	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日（2年）	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（年間の開催数及び開催時期）

年間2回（6月～8月、2月～3月）

（開催日時（実績））

令和2第1回 令和2年7月22日 10:00～11:00

令和2第1回 令和2年3月22日 10:00～11:00

令和3年度第1回 令和3年7月14日 10:00～11:00

令和3年度第2回 令和4年2月を予定

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・今後留学生の入学も期待されるが、日本のホテルで働くことを考えると日本文化やしきたり等も学ぶ必要があるのではないか

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（１）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ・ 山口県内の、学生の住居近くの施設を選定している。
- ・ 学生の興味分野や就職希望分野（進路）も踏まえ、実習指導者との連携がとれる施設を選定している。
- ・ 指導者の監督の下、見学・実習を行い職業理解に努める。

（２）実習・演習等における企業等との連携内容

- ・ 実習、演習においては企業間と「講師派遣契約書」、科目について「覚書」を交わしている。
- ・ 実習・演習の方法・成績評価の方法について実習指導者・教員・学生間で共有している。
- ・ 実習期間中は教員が電話あるいは訪問して状況確認を行い、問題があれば対応について協議する。実習指導者が記入する成績評価表と、実習終了後に行う報告会での報告内容を踏まえ、教員が最終成績評価・単位認定を行う。

（３）具体的な連携の例 ※ 科目数については代表的な５科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インターンシップⅠ	職業意識を涵養し、礼儀作法、社会性を身につける。	株式会社山口グランドホテル ブライダルギャラリー鈴乃屋 アール・ベル・アンジェ 等
インターンシップⅡ	働く意義や仕事の大切さ、将来進むべき道を考える機会として、ホテル・ブライダル業界などでの就業体験を行う。	株式会社山口グランドホテル ブライダルギャラリー鈴乃屋 アール・ベル・アンジェ 等
ブライダル実務Ⅰ	業界で必要な企画力、運営力を学ぶ。	ホテル・結婚式場・その他施設 行政
ブライダル実務Ⅱ	業界で必要な企画力、運営力を学び、企業や行政と連携しイベント等の実践をする。	ホテル・結婚式場・その他施設 行政
ブライダル実務Ⅲ	企業や行政と連携をしてイベント等の実践をし、業界人としてのスキルと実績を取得する	ホテル・結婚式場・その他施設 行政

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
 (教員の研修等の基本方針)
 ・YICグループ教職員研修規程に基づき計画的に研修を実施している。
 ・常に変化する業界動向に合わせて、技術・知識の確認をするために、企業企画・イベントの参加を推奨している。
 ・資格取得のための研修を推奨している。

(2) 研修等の実績
 ①専攻分野における実務に関する研修等
 研修名「ウェディングプランナー検定事前対策」（連携企業等：ウェディングプランナー検定協会）
 期間：令和2年12月19日（土） 対象：授業担当者
 内容：ウェディングプランナー検定対策
 ②指導力の修得・向上のための研修等
 研修名「教育の質向上研修」（連携企業等：学校法人YIC学院）
 期間：令和2年12月9日（水） 対象：授業担当者
 内容：教育の質を向上させるための方法など

(3) 研修等の計画
 ①専攻分野における実務に関する研修等
 研修名「ウェディングプランナー検定事前対策」（連携企業等：ウェディングプランナー検定協会）
 期間：未定（発表次第 参加予定） 対象：授業担当者
 内容：ウェディングプランナー検定対策
 ②指導力の修得・向上のための研修等
 研修名「授業改善研修」（連携企業等：学校法人YIC学院）
 期間：令和3年12月予定（発表次第 参加予定） 対象：授業担当者
 内容：アクティブラーニング、インストラクショナルデザイン、構成的グループエンカウンター関連の研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 ・学校関係者評価委員会において、本校が行う自己点検評価の結果と根拠を示し、とくに当該年度の重点項目を中心に意見等をまとめ報告書を作成していただく。
 ・学校関係者評価委員会からの報告書に基づいて本校の自己点検評価を見直し、次年度の改善計画における重点項目を決定する。これらについて年報・ホームページ等で公表する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 学校運営	7 管理運営
(3) 教育活動	9 改革・改善
(4) 学修成果	2 教育の内容
(5) 学生支援	4 教育目標の達成度と教育効果
(6) 教育環境	5 学生支援
(7) 学生の受入れ募集	3 教育の実施体制
(8) 財務	5 学生支援
(9) 法令等の遵守	8 財務
(10) 社会貢献・地域貢献	7 管理運営
(11) 国際交流	6 社会的活動

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況
 ・本校で実施した自己点検評価・改善計画を学校関係者評価委員会に提出し、意見・協議結果をもとに学校機能評価報告をまとめ、年報・ホームページで公開する。改善計画にもとづき学校運営や教育の改善を計画的に行う。
 またシラバスがテキストの目次に基づくものが多く、具体性がない。
 今後、シラバス・コマシラバスの整備をインストラクショナル・デザインを取り入れて改善していくことに決定した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3(2021)年7月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
山崎 真里	情報工学科 在校生 保護者	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	保護者代表
水津 敬太	パティシエ学科 卒業生	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	卒業生代表
富田 祥司	株式会社ピージーシステム 人事総務部 部長	R2(2020)年4月1日～ R4(2022)年3月31日(2年)	企業関係者
浅川 剛史	山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	職能団体関係者
臼淵 厚史	株式会社 山口グランドホテル 代表取締役社長	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	企業関係者
兼重 顕治	医療法人 協愛会 阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	企業関係者
中野 園子	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	企業関係者

田邊 元久	学校法人三田尻学園 誠英高等学校	R3(2021)年4月1日～ R5(2023)年3月31日(2年)	高等学校関係者
中川 達也	Y I C情報ビジネス専門学校 校長		学校代表者
河津 道正	Y I C情報ビジネス専門学校 副校長		学校関係者
飯田 直樹	Y I C情報ビジネス専門学校 事務長		学校関係者
福本 一雅	Y I C情報ビジネス専門学校 教務課長補佐		学校関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページにて公表 ・ 毎年委員会終了後公開)
URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>
公表時期: 令和3年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
・「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨に則り、原則として、ガイドラインが推奨する内容(提供する情報の項目例)全てについて、ホームページ上にて情報提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科(コース)等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校の評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法
(ホームページにて)
URL: <https://www.yic.ac.jp/ib/disclosure/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際ホテル・ブライダル学科)															
	分類				授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	
1	○			ビジネスマナーⅠ	接客・サービスの基本となる挨拶やお辞儀の仕方、言葉遣いなど、社会人としてのマナーを学ぶ。	1前	30	2		○		○			○
2	○			ビジネスマナーⅡ	お茶の出し方や電話応対、訪問のマナーなど、会社のイメージをより良いものにする対応について学び、ロールプレイングを行う。	1後	30	1		○		○			○
3	○			電話応対Ⅰ	ビジネスの現場で必要となる、電話応対記述に向けて言葉遣いや発声、声のトーンの練習をする。	1前	30	2		○		○			○
4	○			電話応対Ⅱ	電話応対技能検定に向けて、技能を磨くためロールプレイングを交えて練習する	1後	30	2		○		○			○
5	○			パソコンスキルⅠ	ワープロ3級の取得を目指し、表を含むビジネス文書が体裁よく作成できるよう演習をする。表計算3級の取得を目指し、基本的な関数の使い方とグラフ作成方法について演習をする。	1前	60	4		○		○			○
6	○			パソコンスキルⅡ	表計算2級の取得を目指し、抽出関数、データベース関数、グラフ作成方法について演習をする。	1後	60	4		○		○			○
7	○			ホテル・ブライダル関連業務Ⅰ	ホテルやブライダルに関連する業種、職種、業務について学び、より多くの知識習得を目指す。	1前	30	2		○		○			○
8	○			ホテル・ブライダル関連業務Ⅱ	ホテルやブライダルに関連する業種、職種、業務について学び、より多くの知識習得を目指す。	1後	30	2		○		○			○
9	○			ホテル実務Ⅰ	料飲部門（主にレストラン）を中心としたサービススキルおよび接客マナーを身に着ける。	1前	120	8		○		○		○	
10	○			ホテル実務Ⅱ	料飲部門（主にバー・ラウンジ）を中心としたサービススキルおよび接客マナーを身に着ける。	1後	90	6		○		○		○	
11	○			ブライダル実務Ⅰ	実際にイベント（ドレスファッションショー等）を企画運営し、お客様に喜んでもらえるサービス提供について学ぶ	1前	90	6		○		○		○	○
12	○			ブライダル実務Ⅱ	起承転結を考え、イベントで得るものを考えながら、模擬結婚式の実施を行う。	1後	90	6		○		○		○	○
13	○			カラーコーディネートⅠ	カラー配色について学び、パーソナルカラーやカラーコーディネートの方法を学び、色彩活用能力を習得する。	1前	30	2		○		○			○
14	○			フラワーコーディネートⅡ	フラワーの種類や色とカラー配色についてドレスや会場の雰囲気合うフラワーコーディネートを学ぶ	1後	30	2		○		○			○
15	○			業界・職種研究	業界について、どのような職種や部門があり、どのような業務内容があるかを学ぶ。また業界や企業について調べ、研究する	1前後	60	4		○		○		○	
16	○			プランナー検定対策Ⅰ	ブライダルプランナー検定2級取得を目指す。	1前後	90	6	○			○		○	
17		○		インターンシップ	インターンシップで現場の技術を取得する	1前後	30	1					○		○
18	○			ビジネスマナーⅢ	接客・サービスの基本となる挨拶やお辞儀の仕方、言葉遣いなど、社会人直前のマナーの応用を実践を身につける。	2前	2	30		○		○			○
19	○			電話応対Ⅲ	電話応対技能検定に向けて、技能を磨くためロールプレイングを交えて練習する	2前	60	4		○		○			○
20	○			パソコンスキルⅢ	ブライダルビジネスに対応できるパソコンスキル演習をする。動画作成やSNS投稿の仕方、見せ方など総合的に学ぶ	2前	60	4		○		○			○
21	○			カラーコーディネートⅡ	カラー配色について学び、パーソナルカラーやカラーコーディネートの方法を学び、色彩活用能力を習得する。	2前	30	2		○		○			○

22	○		フラワーコーディネートⅡ	フラワーの種類や色とカラー配色についてドレスや会場の雰囲気 に合うフラワーコーディネートを学ぶ	2 前	30	2	○	○		○		
23	○		ホテル実務Ⅲ	宿泊部門（主にフロントサービス）を中心としたサービススキ ルおよび接客マナーを身に着ける。	2 前	60	4	○	○	○			
24	○		ブライダル実務Ⅲ	起承転結を考え、イベントで得るものを考えながら、リアルウ エディングの実施を行う。	2 前	90	6	○	○	○	○		
25	○		プランナー検定対策Ⅱ	ブライダルプランナー検定 1 級取得を目指す。	2 前	90	6	○		○	○		
26	○		ビジネススキル	就職に向けての指導	2 後	90	6	○		○	○		
27	○		文書作成・表計算処理	ビジネススキルの応用として、実際の計算方法や業務に必要な スキルを身に着ける	2 後	90	6	○	○	○			
28	○		マーケティング演習	業界別で、客層や年齢層を考え、どのようなマーケティングを 行っていくか研究していく	2 後	90	6	○	○	○			
29	○		ビジネスマナー総合演習	社会に出た時に必要な名刺交換からプレゼンの仕方、業務処理 方法等を学ぶ	2 後	90	6	○		○	○		
合計					29科目	1 7 40時間							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
1 7 1 0 時間 以上		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	1 6 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。